

事業シート（概要説明書）

仕分対象事業名（個別事業名）		市政功労者表彰・頌徳会・名誉市民事業					
中事業名	秘書・式典事務	担当部・課名	経営企画部秘書課				
総合計画上の位置付け（分野名）	行財政運営	担当名	秘書担当				
事業開始年度	明治34年度	根拠法令	市表彰規則、市頌徳会要綱、 新春のつどい実行委員会要綱、市名誉市民条例				
実施方法	直接実施（市政功労者、頌徳会新会員、名誉市民の選考）						
	業務委託（委託先： ）（市政功労者表彰祝賀会・頌徳会総会の会場設営、名誉市民展の開催）						
	負担金〔直接・間接〕（補助先：新春のつどい実行委員会 実施主体：同左）						
	貸付（貸付先： ） その他（ ）						
事業概要	目的 （何のために）	市政功労者表彰・頌徳会・名誉市民事業 市政の振興、社会文化の興隆に功績があった者に対しその功績と栄誉を称えることにより、市政への市民参画意識の高揚を図り、市民との協働によるまちづくりを推進する。 新春のつどい 市長、市民、関係団体が一同に会して新春を祝うことにより、市政への市民参画意識の高揚を図るとともに、関係団体との連携を一層強化するため。					
	対象 （誰・何を対象に）	市政功労者表彰・頌徳会・名誉市民事業 市政の振興、社会文化の興隆に功績があった者 新春のつどい 市民、関係団体					
	事業内容 （手段、手法など）	7月：名誉市民選考委員会の開催、名誉市民の市長への推挙 8月：表彰審査会・頌徳会会員選考委員会の開催、市政功労者・頌徳会新会員の決定、市議会へ名誉市民の称号贈呈に係る議案提出 11月3日：市政功労者表彰式・名誉市民章贈呈式の開催 1月上旬：新春のつどい開催 1月中旬：頌徳会総会及び懇親会の開催					
	事業の必要性	市政功労者表彰・頌徳会・名誉市民事業 栄誉を称えることで、市政への市民参画意識の高揚と市政の振興に貢献する市民の増加が期待できるため必要である。 新春のつどい 年始にあたり市民や関係団体へ市政運営への理解と協力を求めていく上で必要である。					
コスト	平成22年度		人件費内訳		従事職員数		
	事業費	3,740 千円	}	職員構成		平均人件費 ×従事職員数	
	人件費	2,759 千円		担当正職員		2,759 千円	0.3 人
	総計	6,499 千円		臨時職員他		千円	人
事業費 （財源内訳・単位千円）	年度	総額	補助対象事業の全体経費に対する市の負担（支出）割合	平成22年度予算の財源内訳			
	H19(決算)	3,947	50.2%	国補助金	0		
	H20(決算)	25,213	50.2%	県補助金	0		
	H21(決算見込)	3,448	51.7%	起債	0		
	H22(予算)	3,740	補助対象事業全体経費未確定	一般財源	3,740		
平成22年度事業費内訳	報償費 1,191千円 需用費 消耗品費 147千円 印刷製本費 12千円 役務費 筆耕翻訳料 132千円 委託料 1,308千円（市政功労者表彰 600千円、頌徳会 708千円） 負担金 950千円（新春のつどい） （参考：鎌倉商工会議所負担金 300千円 鎌倉市観光協会負担金 200千円）						

活動実績	【活動指標名】 / 年度実績・評価	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	頌徳会会員数	人	294	310	308
	頌徳会総会出席者数	人	80	88	79
	新春のつどい来場者数	人	377	405	415
単位当りコスト (事業費/活動指標)	頌徳会総会委託料 / 頌徳会総会出席者数	円	7,057	7,981	7,664
成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	<p>市政功労者表彰については、経費(記念品、祝賀会等)の節減を図りつつ、市民の励みとなるよう積極的な表彰を心掛ける。</p> <p>新春のつどいについては、経費の節減を図るとともに、参加者の増を心掛ける。</p> <p>名誉市民については、平成11年度以来8年ぶりに開催された平成19年度の選考委員会において、選考委員会は毎年開催することが確認されている。名誉市民の推挙及び称号贈呈については、平成19年度に3名を推挙し、称号を贈呈したが、平成20年度及び21年度の推挙はなかった。</p>				
成果実績 (成果指標の目標達成状況等)	【成果指標名】 / 年度実績・評価	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	市政功労者表彰受章者数	人	30	33	42
	頌徳会新会員数	人	4	21	7
	名誉市民の称号贈呈人数	人	3	0	0
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>名誉市民については、逝去された場合、これまで、翌年度に追悼展を実施しており、追悼展の初日に偲ぶ会を開催している。(小倉遊亀氏、横山隆一氏の場合)。</p> <p>平成21年度に逝去された名誉市民2氏(平山郁夫氏:平成21年12月2日逝去、蓮田修吾郎氏:平成22年1月6日逝去)についても、市として相当の礼をもって弔意を表すため、追悼展と偲ぶ会の開催について、ご遺族とも相談しながら、今後検討していく必要がある。</p>				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)					
特記事項 (事業の沿革等)	<p>頌徳会は明治34年に当時の鎌倉町長、犬山初蔵により提唱され、同35年2月11日に第1回目の総会が開催された。</p> <p>当初、会員は町長、助役、町議会議員で構成されていたが、大正3年の規程制定により、会員には上記の者の他に、各種委員会の委員や、その他、会員の同意を得た者が追加され、現在の会のほぼ原形ができあがった。</p> <p>以来、幾多の変遷を経ながらも毎年1月上旬にはとぎれることなく続けられ、平成22年で109回目の総会を迎えた。</p>				

平成22年度事業費内訳(市政功労者表彰事業、頌徳会等事業、名誉市民事業)

節 細節	予算額 (千円)	事業名	予算額 (千円)	積算内訳	積算金額 (円)
08報償費	1,191	市政功労者 表彰事業	606	・市政功労者表彰記念品 鎌倉彫盆 14,200円 × 35個 × 1.05	521,850
				・市政功労者記念写真 1,400円 × 35枚 × 1.05	54,600
				・文字入れ代3,000円 × 1.05 ・市政功労者表彰式アトラクション謝礼	29,000
		頌徳会等 事業	150	・新入会員記念品 鎌倉彫盆 14,200円 × 10個 × 1.05	149,100
		名誉市民 事業	435	・名誉市民選考委員会委員謝礼 委員長 12,000円 × 1人 × 2回 委員 10,000円 × 9人 × 2回 ・名誉市民章 名誉市民章180,000円 × 1個 × 1.05 原型代 40,000円 × 1個 × 1.05	204,000 231,000
11需用費 01消耗品費	147	市政功労者 表彰事業	117	・表彰状、表彰筒、飾花、看板等	117,000
		頌徳会等 事業	30	・表彰筒等	30,000
11需用費 04印刷製本費	12	頌徳会等 事業	12	・新入会員用表彰状 1,090円 × 10枚 × 1.05	11,445
12役務費 07筆耕翻訳料	132	市政功労者 表彰事業	129	・表彰状筆耕料 3,500円 × 35枚 × 1.05	128,625
		頌徳会等 事業	3	・表彰状筆耕料 200円 × 10枚 × 1.05	2,100
13委託料	1,308	市政功労者 表彰事業	600	・表彰式祝賀会実施委託	600,000
		頌徳会等 事業	708	・頌徳会総会実施委託	707,782
19負担金	950	頌徳会等 事業	950	・新春のつどい負担金	950,000
合計	3,740				